

コミュニティ・スクール春日市立白水小学校

校長通信

「輝き」



第3号

令和5年6月16日

校長 田中清美

<白水小学校の教育目標> 『自立 貢献 挑戦』

～「自分は何ができるのか」を考え実行することができる子どもの育成～

修学旅行 5月25日・26日



自然教室 6月6日・7日

「協力・責任・自分から」のスローガンを掲げ、6年生は長崎県に1泊2日の修学旅行に行ってきました。初日は、平和公園（原爆落下中心地）で平和集会を行いました。平和集会では、平和への誓いを宣言するとともに、白水小学校の全員で折った千羽鶴を奉納しました。平和公園は、多くの観光客も訪問されていて、6年生の宣言を熱心に聴いてくださいました。午後からは、平和についての自分の課題を解決するため、班で協力しながらフィールドワークを行いました。道に迷い、計画通りにいかないことを経験しながら、地元の方の親切さに助けられ、無事終えることができました。老若男女問わず、修学旅行生に大変親切に接して下さる長崎市の方々との出会いから、子どもたちには感謝の気持ちが芽生えたことと思います。

5年生は「自分で考えて行動し、思いやりのある楽しい自然教室にしよう」のスローガンのもと、夜須高原青少年自然の家で自然教室を実施しました。初日は、小雨をもるともせず野外炊飯でカレーライスを作りました。多少のハプニングはありましたが、自分の役割を果たし、班のみんなで協力して、手際よく準備、調理片づけを行うことができました。使用した道具の点検では、一度で合格をもらえる班もあり、自然の家の方も驚いていらっしゃいました。キャンドルの集いやレクリエーションは、集会系の工夫を凝らした内容でとても盛り上がりました。自然教室2日間の中で、友達に対しての温かい言葉かけが多く聞かれ、「静かにしよう」の呼びかけに、「ありがとう」の返答、本当に優しさや思いやりを感じる場面を多く見る事ができました。

5・6年生は、実行委員を中心に、一人一人が役割を果たし、みんなで協力することで、スローガンを達成し成長できました。これから、異学年チームでの活動や運動会など、学校全体を引っ張るリーダーとして活躍してくれることと思います。宿泊行事での経験を活かし、さらなる成長を期待します。



今年、本校では対話活動を位置づけた学習活動を通して、子どもたちに自分の考えを持ち表現する力を育てる授業改善に取り組んでいます。先日、田中先生の国語の授業公開がありました。授業では、自分の考えを深めるため、ペアでの対話活動が仕込まれていました。子どもが自分の考えを可視化できるように「シール」を準備したり、説得力のある考えにするために「上手な発表の仕方」を提示したり、対話活動が深まるよう「対話カード」を準備したりするなど、多くの手立てがあり、工夫がされていました。授業後は、授業を参観した先生方で意見交流を行いました。今後も研修を重ね、子どもたちとよりよい授業を創っていきます。



修学旅行 5月25日・26日



出発式



フィールドワーク



平和集会



千羽鶴奉納



夕食会場



ハウステンボス

自然教室 6月6日・7日



まき担当



カレー完成



美味しい



ジェスチャーゲーム



猛獣狩り



フィールドビンゴ